
LOVEレター

松隈まり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

LOVEレター

【Nコード】

N1111B

【作者名】

松隈まり

【あらすじ】

結花のことが好きな悠一は結花に名前なしのラブレターをおくった・・・

「えーっ!!」

ある月曜日の朝、俺の隣の席の女子、平田結花が大声をあげた。

「結花、どーしたのお?!」

教室にいた女子たちが結花のまわりにあつまった。

「ラ、ラブレター!?!」

結花の親友、夏海が教室中に聞こえる声でいった。

結花は顔を赤くして

「しーっ! みんなに聞こえちゃうよお。」

と、いつている。しかし既にみんなに聞こえている。

「おい、悠一、聞いたか? 平田がラブレターもらったんだってさ!」

親友の太一が話しかけてきた。

もちろん知っている。内容も、誰が書いたかも。

・・・なぜなら、結花にラブレターを書いたのは俺、柴田悠一なのだから・・・

「誰が書いたんだろうなあ。」

「さあな・・・」

結花は小6のときから一緒のクラスで、よくしゃべったりした。

結花って目がおおきくてさ、チビで、よくしゃべる奴で、

そんで、ニコッって無邪気に笑うんだ。

そしたら頬にちっちゃいえくぼが

できてさ・・・

・・・なんかもう、耐え切れないというかなんというか・・・

ほんと、こんなこと思ったのまじ初めてで・・・

気づいた。俺は結花が好きなんだって。

そしてラブレターをかいだ。

『好きです。』

たった一言だけど本気で書いた。

女子は大騒ぎだ。

「ねえ誰がかいたの??」

夏海の問いに結花は困ったような顔で答えた。

「うーん・・・それがね、名前、書いてないの。」

「はぁ!？」

「名前なし!？」

「うん・・・。」

そう。俺、ほんと馬鹿で、勇気なかった。書けなかった。

気持ちを伝えるだけで精一杯だったんだ。

「名前なしなんて誰かのいたずらじゃないの?」

「え・・・そうかなあ?」

ちがう! いたずらじゃない! 俺が本気で書いたんだよ!!

「でも・・・なんかすごく気持ちがこもってる気がする。」

結花が言った。

「だって、いまどきメールとかで告るっていうのが多くて手紙で告るってめずらしくない？」

・・・一言だけだけど、なんか気持ちがつたわってくる・・・」

え、手紙って古かったかなあ・・・

だけど、

結花・・・

ああ、やっぱ俺、結花のこと好きだ。

「ねえ、結花、字で誰が書いたかわかんない？？」

ギクッ！！

「あ・・・！そーいえばこの字、見覚えあるような・・・」

ギクギクッ！！！！

え、字で俺が書いたってばれたらどうしょー
うわー・・・やべえ・・・

「でもやっぱ、誰がかいたかわかんないよお。」

困ったように結花は言う。

ふう・・・

そ、そーだよな、字ぐらいでばれるもんか。落ちつけ！俺！

おい悠一、さっきからなに赤くなったり青くなったりしてるんだよ？」

「え！な、なんでもねえよ！」

『キーンコーンカーンコーン・・・』

始業のチャイムでみんな席に着いた。

隣にすわっている結花はまだ手紙のことをきになっているのか真剣な顔でなにか考えているようだった。

さっきのこともあっていつもよりなんだかドキドキした。

一時間目は国語・・・

漢字テストだ。

ああ20問中10問しか解けなかった」

次の瞬間、俺は先生の一言でどきっとした。

「はい、じゃあ採点は隣の席の人と交換してやってください。」

え!!!

と、隣の席って結花じゃん・・・

「ちょっと、悠一!」

「へ!?!」

「もう!なにポーっとしてんの」

見ると結花が自分の解答用紙をさしだしている。

「採点するよっ!

悠一、ちゃんと書けたの?」

「あ、ああ・・・」

結花の解答用紙と自分の解答用紙を交換した。

うわ、結花、満点じゃん。俺とはすごい差だよなあ

「はい、お前満点だったぜ。」

解答用紙を結花に返した。

「あ！悠一のぶんも採点、おわったよ！」

あれ？

結花の顔なんか赤いぞ？
気のせいだろうか・・・

「はい・・・。」

俺は結花から解答用紙を受け取った。

！！！！！！

俺の名前のよこに、小さめの結花の文字でこうかいてあった・・・

『好きです。』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n11111b/>

LOVEレター

2011年1月12日23時34分発行